

プロジェクト 所得向上プログラムの実践

目標

・ 1 経営体当たりの生産農業所得 R5：488万円 → R10：745万円

挑戦する内容

- ・ 農業者の経営分析・経営改善指導等の指導体制の強化
- ・ 所得向上プログラムの実践支援

関係者の声
= 対話

- ・ 所得向上プログラムの実践に向け若手農業者が活用しやすい補助事業を設計してほしい (市町村)
- ・ 取組内容をコンペ形式で競わせて農家をもっと稼げるようになると面白い (農業経営士)
- ・ 所得向上プログラムの実現に向け提案型の補助事業を創設してほしい (農業経営士)
- ・ きめ細かく経営指導ができる普及指導員を育成し、濃密的に経営改善指導を行うべき (農業経営士)
- ・ 農業機械等の価格が高騰しているため、補助上限を引き上げてほしい (農業法人経営者)

役割分担

- ・ 農業者：所得向上チャレンジプランの作成、所得向上プログラムの実践
- ・ 市町村：相談窓口、生産者への情報提供
- ・ 全農・農協：現地指導、栽培講習会の開催
- ・ 産技センター：新技術の開発・普及、各種データの収集・分析
- ・ 農業経営・就農サポートセンター：相談窓口、経営分析支援
- ・ 県：経営分析・経営改善指導、現地指導、機械・施設等の導入支援

変革後の姿

- ・ 経営指導力の高い普及職員の育成により、効率的な経営分析・経営改善等の指導体制が確立
- ・ 所得向上プログラムの成功事例を横展開することで、多くの農業者の所得が向上し経営が安定

令和8年度計画

挑戦する内容

- 1 農業者の経営分析・経営改善指導等の指導体制の強化
 - ・ 生産者の所得向上プログラムの実践に向けた支援ツールの作成
 - ・ 若手普及職員の指導力向上に向けた提案型研修の実施や資格取得に向けた取組
- 2 所得向上プログラムの実践支援
 - ・ 農業者自らが提案するチャレンジプランに基づく取組をソフト・ハードの両面から支援
 - ・ 所得向上チャレンジプランの実現に向けた経営分析・経営改善指導
 - ・ 所得向上プログラム実践支援事業実施者の経営データを収集

対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築 (7月、1月)
- ・ 所得向上プログラム実践支援事業実施者の現地巡回指導時に進捗状況等を聞き取り (随時)
- ・ 市町村、農協等の関係機関と打ち合わせを行い、所得向上チャレンジプランの実現に向けた連携について意見交換 (随時)

1 品目の選択

2 品目別の経営改善メニューを選択

導入する経営改善メニューを選んでください

導入技術	収穫増	単価増	コスト削減
・水稲高密度は種苗栽培の導入			○
・栽培管理支援システムの導入	○		
・水稲の農作業委託の実施	○		
・V溝乾田直播の導入			○

3 経営改善メニューの導入効果

具体的な経営改善メニュー

高密度は種苗栽培の導入

導入効果

- ・育苗に係る肥料・農薬・材料費の減
- ・雇労費の減
- ・労働時間の減収益が増加

留意点

- ・10a当たりの所得は増えませんが、春季の作業が軽減され、規模拡大による所得向上が可能
- 必要な機械等、導入コストの目安
- ・高密度は種苗対応は種プラント 429千円
- ・高密度は種対応移植機 4,103千円
- 計 4,532千円
- うち補助金 (1/2) 2,265千円
- ※0ha 規模で試算

活用できる事業

- ・所得向上プログラム実践支援事業 (県単)
- ・農林利用効率化等支援交付金 (国庫)

補助事業 HIPへ

支援ツールイメージ